

土壌試料ガンマ線放出核種濃度分析条件

別紙1

項目	条件	備考
核データ	別紙3「分析対象ピーク一覧」のとおり	別紙3「分析対象ピーク一覧」以外のマスター核データを使用する際は発注者と協議すること
キーラインピーク	別紙3「分析対象ピーク一覧」のとおり	セシウム134の検出判定及び濃度計算には796 keVのピークを用い、荷重平均の値とはしないこと。
バックグラウンド補正	バックグラウンドファイルは直近1か月以内のものを使用する。	
減衰補正	採取終了～測定開始、測定中の補正を行う。	
測定時間	80000秒以上とする。	
供試料量	約100g	
核種濃度単位	Bq/kg乾土	
検出下限値	Cs-137及びCs-134で、おおむね1～10 Bq/kg乾土以下を担保することとする。	
精度管理	以下のいずれかの条件を満たすこととする	
	・ISO17025を取得していること	
	・公益財団法人日本分析センター又はIAEA等の公的機関による精度管理事業に年1回以上参加していること	